

(公社) 日本建築家協会 関東甲信越支部

城北地域会 主催

まち歩き

旧前谷津川を歩く

2018.9.29 Sat.

13:30 高島平駅 東口集合

17:00 下赤塚駅 解散予定

参加無料・申込不要

前谷津川は、現在は全てが暗渠となり、大部分が緑道として整備されている、かつて板橋区内にあった河川です。

本流の起点は川越街道の向こうの光が丘公園側であったことが史料からわかります。流れは東武東上線の線路をくぐり、しのがやと公園周辺などの湧水を集めて、いくつかの支流と合流しながら、徳丸が原（現在の高島平）の北の新河岸川にそそぎます。

本流でも流路は約5kmと短い河川ですが、上流・中流・下流の景観は特色あるもので、さらにそれに地域の歴史や文化を重ねれば、そこにはたくさんの街の物語を見いだすことができるでしょう。

今回のまち歩きは、新河岸川との合流点から遡上し、途中、徳丸北野神社や松月院大堂に立ち寄り、上流の湧水地であるしのがやと公園を目指します。

大部分が緑道として整備されていますが、歩きながらの地形の変化だけでなく、道幅の変化にも、かつての流路を偲ぶことができるまち歩きです。

TOKYO  2018

上流・中流・下流では、それぞれに
街の景色があり街の物語があります

高島平団地内の旧河道／下流域だけあって幅員も広い



新河岸川合流付近／旧前谷津川にちなんだ親水公園



徳丸北野神社／地域の信仰の中心で豊作も祈願する



中流域の緑道／両岸には丘陵部が伺え、かつての川の流れを想像させる



水車公園／公園内にある水田は板橋区内唯一のもの



農地と宅地／川の役割が農業用水から生活用水に変わり、農地も宅地となる



しのがやと公園／公園の名前は上流域の豊かな湧水に由来



松月院大堂／板橋区内で最も古いお堂で大伽藍をなしていたという

問い合わせ：鈴木和貴／suzuki「あ」paxkenchiku.co.jp
(「あ」を@に置き換えてください)

